

タバコシバンムシ

分類 鞘翅目シバンムシ科

学名 *Lasioderma serricorne*

英名 Cigarette beetle



■解説²⁾

本種は極めて雑食性で、含水量 6~15%のあらゆる乾燥食品を食害し、特にタバコの重要害虫であることからこの名が付けられた。パン、ビスケット、コーヒー、ココア、豆類、乾麺、動物標本を食害する。食品の原料・加工工場のみならず、一般住宅でも普通に見られ、畳のワラ床などから発生し問題となる。熱帯、温帯圏に広く分布し、日本では本州以南に分布する。

わが国では、乾燥食品の害虫として本種とジンサンシバンムシ (*Stegobium paniceum*) が著名である。両者は外観が類似するが、成虫の見分け方としては、本種の触角はノコギリ歯状で各節の大きさが同等であるのに対して、ジンサンシバンムシは鞭状の触角を呈し、先端 3 節が長く大きいのが特徴である。

■体長

卵 : $0.41 \pm 0.02 \times 0.21 \pm 0.01$ mm¹⁾

幼虫 : 3.7mm 前後²⁾

蛹 : 3mm 前後²⁾

成虫 : 3mm 前後²⁾

■産卵数

産卵数/生涯 : 約 50 卵²⁾

■ライフサイクル (30℃)³⁾

卵 : 6.9 ± 0.1 日

幼虫 : 25.4 ± 1.3 日

蛹 : 4.3 ± 0.3 日

成虫 : 14~40 日

■発育零点 (発育停止温度)³⁾

卵 : 13.25℃

幼虫 : 15.18℃

蛹 : 15.50℃

全発育期 : 14.90℃

【参考文献】

1) G. L. Lecato et al. : J. Kansas. Entomol. Soc., 47(3), 308 (1974)

2) 原田豊秋 : 食糧害虫の生態と防除, p. 526, 光琳 (1984)

3) 新穂千賀子 : 姫路短期大学研究報告, 27, 34 (1982)